税制を活用する脱温暖化施策の概要

NO. 2

項	В	内容
施策	名 称	CO2 の着実な削減に向けた基本施策に取り組みます。 【低燃費・低排出ガス車の普及】(ロードマップ(3)-1-13) 【自発的な行動変容・市民との協働】(ロードマップ(3)-1-12)
背	景	本市における運輸部門の CO2 排出量の構成比は、22.4%となっており、全国における構成比(13.0%)に比べ、約1.7倍の構成比率となっている(2006年度)。また、自動車からの CO2 排出量は、運輸部門の約 90%を占めている。これらを踏まえると、本市においては、自動車単体に対する温室効果ガス発生抑制の対策が不可欠である。
目的(指標)		(目的) 電気自動車を含めた低燃費・低排出ガス車の導入拡大を図るとともに、拡大のためのインフラ整備を促進することにより、自動車からの 002 を着実に削減する。 (指標) 環境に優しい自動車(電気自動車を含む)を 2025 年までに次の割合で導入・自家用車: 40%・貨物車: 30%
		CO2換算 ※運輸部門全体として
取組内容	経済手法	【低燃費・低排出ガス車の普及】 1 八都県市指定低公害自動車の導入に係る補助(実施中) 被代替車を所有し、八都県市指定低公害自動車を導入する個人・事業者に対し、導入費用の一部を補助(被代替車については条件がある) ・電気自動車(乗用・貨物): 30 万円/台 (ミニカー): 7 万円/台 ・プラグインハイブリッド車(pHV): 30 万円/台 ・ハイブリッド乗用車: 22 万円/台(タクシー用途に限る) ・トラック・バスを中心に、天然ガス・ハイブリッド等の八都県市指定低公 害車: 5 万円/台~220 万円/台
		2 倍速充電スタンド設置補助(実施中) 市内に、EV・pHV 用の公共の用に供する定格 200 V の倍速充電スタンドを設 置する個人・事業者に対し、設置費用の一部を補助(工事費含まず) ・スタンド本体+給電ケーブル:上限 20 万円/基
		3 八都県市指定低公害自動車の新車購入に要する資金(実施中) 中小企業を対象に、八都県市指定低公害自動車の購入資金に対する低利融資 の実施(ただし、乗用車についてはプラグインハイブリッド車、一般乗用旅客 自動車運送事業用(タクシー事業)用に供するハイブリッド車及び電気自動車 に限る。)
		4 電気自動車普及のための税制(今後実施を検討) 電気自動車に関する軽自動車税及び電気自動車の充電設備に関する固定資 産税を一定程度減免する。

【自発的な行動変容・市民との協働】 1 エコドライブの普及(実施中) 本市では、「かながわエコドライブ推進協議会」に参画しており、この協議会の取組の一つとして、県トラック協会に協力し、経営者・運行管理者向けのエコドライブ論習会を開催している。 毎年6月の環境月間行事として開催している「エコカーワールド」(環境省、環境再生保全機構との共催)で広く PR するほか、JAF (日本自動事連盟)と連携した市内の自動事を関所を使っての、市民ドライブ・同けのエコドライブ語習会やエコドライブアドバイザー議習を開催している。この他、日産自動事の本社移転を契機に、環境モデル都市・横浜の実現に向けた5年間の共創プロジェクト YOKOHAMA Mobility "Project ZER0" (YMPZ)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配慮したエコ運転の普及」を 展開していくこととしている。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのの局の診験断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度(実施中)、小都県市低公害車指定制度を発足させ、窓業酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに感費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度月第92,200千円(電動車両によるCO2削減事業)10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 「新県市格公害車指定指針の改正電動車両によるCO2削減事業・ハイブリッド車(同財) 年度 電気自動車を補助対象に追加平成21年度 「新県市格公書車指定指針の改正電動車両によるCO2削減事業・ハイブリッド車(同財) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:ドウェルイブリッド車で係る区役所等駐車場の減免措置開始 プラグインハイブリッド車 (PIV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:定場であると発信を開いまた。 10 で 3 定間 2 に 3 定間 3 に 3 に 3 に 3 に 4 に 3 に 5 に 3 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5			
本市では、「かながわエコドライブ推進協議会」に参画しており、この協議会の取組の一つとして、県トラック協会に協力し、経営者・運行管理者向けのエコドライブ論習会を開催している。 毎年6月の環境月間行事として開催している「エコカーワールド」(環境省、環境再生保全機構との共催)で広く PR するほか、JK (日本自動車連盟)と連携した市内自動車教習所を使っての、市民ドライバー向けのエコドライブ諸習会やエコドライブアドバイザー議習を開催している。この他、日産自動車の本社移転を契機に、環境モデル都市・横浜の実現に向けた5 年間の共創プロジェクト YOKOHAMA Mobility "Project ZERO" (YMP2)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配慮したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの商の者及啓発を進めていくもので、エコドライブのあいまが少なが、「サール・エコドライブの協場診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発をホレンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度月前にまか評価を加え、八都県市低公害車指定指針の設定、事業を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始平成19年度 電気自動車を補助対象に追加平成21年度 八都県市格公告車補助対象に追加平成21年度 八都県市格公告車指定指針の改正電動車両による 002 削減事業・ハイブリッド車 (PMV) 車で、第15年度 八都県市係公区を役所等駐車場の減免措置開始で対プリッド車で(MV) 2次電池の括載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:と大・ディアリッド車で(MV) 2次電池の括載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:と、大・モーターのみでの走行(以下:と、大・一名のみでの走行(以下:と、大・一名のみでの走行(以下:と、大・一名のみでの走行(以下:と、大・一名のみでの走行(以下:と、大・一名のみでの走行(以下:と、大・一名のみでの走行が対して、対し、大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
会の取組の一つとして、県トラック協会に協力し、経営者・運行管理者向けのエコドライブ議習会を開催している。 毎年6月の環境月間行事として開催している「エコカーワールド」(環境省、環境再生保金機構との共催)で広く PR するほか、JAF (日本自動車連盟)と連携した市内の自動車教習所を使っての、市民ドライバー向けのエコドライブ講習会やエコドライブアドバイザー講習を開催している。この他、日産自動車の本社移転を契機に、環境モデル都市・横浜の実現に向けた5年間の共創プロジェクト YOKOHAMA Mobility "Project ZERO" (YMPZ)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配虚したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車のイ技移転を契機に、環境に配虚したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車クウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃養競争である「E-1 グランブリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催 (実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定した。その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公吉車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成15年度 「本に監査の評価を加え、八都県市低公吉車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いたとのとの連続で観えが自動車に関し、導入補助・EV、pHV車両導入補助・倍速充電がも大電可能によるCO2 削減事業 エバイブリッド車(DHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:1を発行しているため、EV 走行可能距離の拡大により、モアターのみでの走行(以下:1を開発している自動車。従来のバイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			— — — — — — — — — — — — — — — — — — —
のエコドライブ講習会を開催している。 毎年6月の環境月間行事として開催している「エコカーワールド」(環境省、環境再生保全機構との共催)で広く PRするほか、JAF (日本自動車連盟)と連携した市内の自動車教習所を使っての、市民ドライバー向けのエコドライブ講習会やエコドライブアドバイザー講習を開催している。この他、日産自動車の本社移転を契機に、環境モデル都市・横浜の実現に向けた5年間の共創プロジェクト YOKOHAMA Mobility "Project ZERO" (YMP2)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配虚したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競うが、費競争である「E-I グランブリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 ハ都県市低公害車指定制度(実施中) ハ都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配製してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配度して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度 ア都県市指定低公害車補助開始平成19年度 電気自動車を補助対象に追加平成19年度 電気自動車等に伝る区役削減事業・ハイブリッドと関連補助対象に追加・アイブリッドを開催的では機能を高くの20円が開始・ドルイブリッド車(pHV)2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:E、定行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、場内を対しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
毎年6月の環境月間行事として開催している「エコカーワールド」(環境省、環境再生保全機構との共催)で広く PR するほか、JAF (日本自動車連盟)と連携した市内の自動車教習所を使っての、市民ドライバー向けのエコドライブ議習会やエコドライブアバイザー講習を開催している。この他、日産自動車の本社移転を契機に、環境モデル都市・横浜の実現に向けた5年間の共創プロジェクト YOKOHAMA Mobility "Project ZERO" (YMP2)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配慮したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃養機関していくこともでいる。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃養機関していくよりでものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度(実施中)、バ部県市低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、取成1年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、人都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算92、200千円(電動車両による CO2 削減事業)10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始 電気自動車を補助対象に追加 平成 19年度 電気自動車を補助対象に追加 アボス19 年度 電気自動車を補助対象に追加 ・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 ・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 ・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 ・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 ・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 ・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 ・EV、pHV車の表積に表するととで、家庭用電域を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭所電気の搭載容量を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭所電気の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:とで表別を開発しているため、EV 表別では対していることで、家庭所では対しているため、EV 表別では対しているため、EV 表別では対しているため、EV 表別では対しているため、EV 表別では対しているため、EV 表別では対しているため、EV 表別では対しているため、EV 表別では対しているため、EV 表別では対しているため、EV 表別では対しているため、EV 表別では対しているに対しをは対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しでは対しているに対しないるに対しているに対している			
環境再生保全機構との共催)で広くPR するほか、JAF (日本自動車連盟)と連携した市内の自動車教習所を使っての、市民ドライバー向けのエコドライブ講習会やエコドライブドバイザー講習を開催している。この他、日産自動車の本社移転を契機に、環境モデル都市・横浜の実現に向けた5年間の共創プロジェクト YOKOHAMA Mobility "Project ZERO" (YMPZ)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配慮したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃養競争である「E-1 グランブリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を未レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物でが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 予算 平成15年度 八郡県市低公害車補助開始平成19年度 電気自動車を指定性の改正電動車を指定性の改正電動車の減免措置開始・平成19年度 電気自動車を活に指針の改正電動車の減免措置開始・ディバブリットタクシー導入補助・EV、内IV車両導入補助・倍速充電スタント設置補助・EV、大IV車両導入補助・倍速充電スタント設置補助・で、家庭用電源から充電電可能な機能を備えている自動車、従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			
連携した市内の自動車教習所を使っての、市民ドライバー向けのエコドライブ講習会やエコドライブアドバイザー講習を開催している。この他、日産自動車の本社移転を契機に、環境モデル都市・横浜の実現に向けた5年間の共創プロジェクト YOKOHAMA Mobility "Project ZERO" (YMPZ)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配慮したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及を発を進めていくもので、エコドライブのランキングを頻う燃養のに、イカー層の普及を発を進めていくもので、エコドライブのランキングを頻う燃養をである。「モーイグランプリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及を発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度(実施中)ハ都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 予算 「平成21年度予算92、200千円(電動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 「平成15年度 「本版・日本・「中で、日本・日本・「中で、日本・「中で、日本・日本・「中で、日本・日本・「中で、日本・日本・「中で、日本・日本・日本・「中で、日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日			
プ講習会やエコドライブアドハイザー講習を開催している。 この他、日産自動車の本社移転を契機に、環境モデル都市・横浜の実現に向けた5年間の共創プロジェクトYOKOHAMA Mobility "Project ZERO" (YMPZ)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配慮したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。 これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃養競争である「モー1 グランプリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度(実施中)八都県市低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92.200千円(電動車両による CO2削減事業)10.735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市括定低公害車補助開始 平成19年度 電気自動車を補助対象に追加 平成19年度 東京 19.200千円(電動車両による CO2削減事業)・ハイブリッドタシー導入補助・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●ブラダインハイブリッド車(pHV)2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			
での他、日産自動車の本社移転を契機に、環境モデル都市・横浜の実現に向けた5年間の共創プロジェクト YOKOHAMA Mobility "Project ZERO" (YMPZ)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配慮したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃養競争である「E-1 グランプリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度(実施中)ハ都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨しててたが、平成21年4日、運輸部門における地球温暖化対策にも起して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 中成21年度予算92、20千円(電動車両によるCO2削減事業)10、735千円(エコドライブの普及)で成15年度 「不成19年度電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始を設備表で、今の上等入補助・信速充電スタンド設置補助電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●ブラグインハイブリッド車(pHV)2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			
向けた5 年間の共創プロジェクト YOKOHAMA Mobility "Project ZERO" (YMPZ)を進めており、この取組の一つとして、「環境に配慮したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃費競争である「E-I グランプリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度(実施中) 八都県市には、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 予算 「平成21年度予算 92、200千円(電動車両による CO2 削減事業)10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市街定低公害車補助開始 平成21年度 八都県市街定低公害車補助開始 平成21年度 八都県市低公害車補助開始 ・ドバイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助電気自動車等に係る医役所等駐車場の減免措置開始 ・グラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			<u> </u>
で進めており、この取組の一つとして、「環境に配慮したエコ運転の普及」を展開していくこととしている。これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのシンキングを競う燃養験争である「E-1 グランブリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公書車指定制度(実施中)ハ都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公書車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公書な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公書車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92、200千円(電動車両による CO2 削減事業)10、735 千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公書車補助開始 平成19年度 電気自動車を補助対象に追加 平成21年度 八都県市指定低公書車補財開始 ・ア成21年度 八都県市指定低公書車補助開始 ・京気自動車を補助対象に追加 ・京気自動車を補助対象に追加 ・京気自動車を指しているを202 削減事業・・バイブリットタクシー導入補助・・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 ・電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV)2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			
展開していくこととしている。 これは、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブ の一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃 費競争である「E-1 グランプリ」と、データロガーを使用したエコドライブ の簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中) 環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度〈実施中) 八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92,200千円(電動車両によるCO2削減事業) 10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成19年度 電気自動車を補助対象に追加 平成21年度 八都県市指定低公害車補助開始 ・ で成15年度 八都県市指定の法国・連続上追加 ・ で成15年度 八都県市指定の法国・連続上追加 ・ で成15年度 八都県市指定の当事両によるCO2削減事業・			
では、日産自動車のノウハウを活用し、市民を対象としたエコドライブの一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃費競争である「E-1 グランプリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度(実施中)、小都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92,200千円(電動車両によるCO2削減事業)10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始平成19年度電気自動車を補助対象に追加平成19年度電気自動車を補助対象に追加・・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●ブラグインハイブリッド車(pHV)2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、表記を記述を開発の減免措置開始			
取組内容 の一層の普及啓発を進めていくもので、エコドライブのランキングを競う燃養競争である「E-1 グランプリ」と、データロガーを使用したエコドライブの簡易診断を行うものである。 2 エコカーワールドの開催(実施中)環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度(実施中)八都県市低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92、200千円(電動車両による C02 削減事業) 10、735 千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市低公害車補助開始 平成19年度 電気自動車を補助対象に追加 平成21年度 八都県市低公害車指定指針の改正電動車両による C02 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●ブラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増かすととにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			
組内容 法	取	情	
正容	組	的	
法 2 エコカーワールドの開催 (実施中) 環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度 (実施中) 八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92,200千円(電動車両によるC02削減事業) 10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成19年度 電気自動車を補助対象に追加 平成19年度 電気自動車を補助対象に追加 平成19年度		手	
環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタンドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度(実施中) 八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92,200千円(電動車両によるCO2削減事業)10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始平成19年度 電気自動車を補助対象に追加平成21年度 八都県市低公害車指定指針の改正電動車両によるCO2削減事業・ハイブリットタクシー導入補助・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV走行可能距離の拡大により、		法	07 H1 20 H1 C 11 2 G 02 G 03 G 0
ドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。 3 八都県市低公害車指定制度(実施中) 八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成 8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排 出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排 出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92,200千円(電動車両による CO2 削減事業) 10,735 千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成19年度 電気自動車を補助対象に追加 平成21年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			2 エコカーワールドの開催(実施中)
3 八都県市低公害車指定制度(実施中) 八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算92,200千円(電動車両によるC02削減事業) 10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成19年度電気自動車を補助対象に追加 平成21年度 八都県市低公害車指定指針の改正電動車両によるC02削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			環境省等との共催により、電気自動車を含む各種低公害車及び充電スタン
八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算92,200千円(電動車両によるCO2削減事業)10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始平成19年度電気自動車を補助対象に追加平成21年度 八都県市低公害車指定指針の改正電動車両によるCO2削減事業・ハイブリットタクシー導入補助・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV)2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV走行可能距離の拡大により、			ドの普及啓発を赤レンガ倉庫広場にて実施する。
八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算92,200千円(電動車両によるC02削減事業)10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始平成19年度電気自動車を補助対象に追加平成21年度 八都県市低公害車指定指針の改正電動車両によるC02削減事業・ハイブリットタクシー導入補助・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV)2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV走行可能距離の拡大により、			
8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92,200千円(電動車両による 002削減事業) 10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成19年度 電気自動車を補助対象に追加 平成21年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による 002削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			3 八都県市低公害車指定制度(実施中)
出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきたが、平成21年4月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成21年度予算 92,200千円(電動車両によるC02削減事業) 10,735千円(エコドライブの普及) 平成15年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成19年度 電気自動車を補助対象に追加 平成21年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両によるC02削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			八都県市では、自動車排出ガスによる大気汚染の早期改善に向けて、平成
が、平成 21 年 4 月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成 21 年度予算 92,200 千円(電動車両による CO2 削減事業) 10,735 千円(エコドライブの普及) 平成 15 年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			8年3月に低公害車指定制度を発足させ、窒素酸化物等の大気汚染物質の排
出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成 21 年度予算 92,200 千円(電動車両による CO2 削減事業) 10,735 千円(エコドライブの普及) 平成 15 年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			出量が少ない低公害な自動車を指定し、その導入を広く一般に推奨してきた
した。 なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成 21 年度予算 92,200 千円 (電動車両による CO2 削減事業) 10,735 千円 (エコドライブの普及) 平成 15 年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			が、平成 21 年 4 月には、運輸部門における地球温暖化対策にも配慮して、排
なお、この制度により指定された自動車に関し、導入補助や低利融資の経済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成 21 年度予算 92,200 千円(電動車両による CO2 削減事業) 10,735 千円(エコドライブの普及) 平成 15 年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下:EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			出ガスの評価に新たに燃費の評価を加え、八都県市低公害車指定指針を改正
済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。 平成 21 年度予算 92,200 千円(電動車両による CO2 削減事業) 10,735 千円(エコドライブの普及) 平成 15 年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助 ・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車(pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			
予算 平成 21 年度予算 92,200 千円 (電動車両による CO2 削減事業) 10,735 千円 (エコドライブの普及) 平成 15 年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			
・ 10,735 千円(エコドライブの普及) 平成15 年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助 ・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用 電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同 様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			済手法を用いた促進策にも取り組んでいる。
10,735 千円 (エコドライフの普及) 平成 15 年度 八都県市指定低公害車補助開始 平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助 ・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、	三		平成 21 年度予算 92, 200 千円 (電動車両による CO2 削減事業)
平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助 ・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			10, 735 千円(エコドライブの普及)
平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加 平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正 電動車両による CO2 削減事業 ・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助 ・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			平成 15 年度 八都県市指定低公害車補助開始
スケジュール			平成 19 年度 電気自動車を補助対象に追加
・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助 ・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			平成 21 年度 八都県市低公害車指定指針の改正
・倍速充電スタンド設置補助 電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、	スケジュール		電動車両による CO2 削減事業
電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始 ●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			・ハイブリットタクシー導入補助 ・EV、pHV 車両導入補助
●プラグインハイブリッド車 (pHV) 2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行 (以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			・倍速充電スタンド設置補助
2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			電気自動車等に係る区役所等駐車場の減免措置開始
備考 EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			●プラグインハイブリッド車 (pHV)
備考 電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同 様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、			
電源からも允電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリット車と同様、エンジンとモーターを併用しているため、EV 走行可能距離の拡大により、	備考		
短距離走行時には、ガソリンを消費しない EV 走行が可能。			短距離走行時には、ガソリンを消費しない EV 走行が可能。
l	備考		2次電池の搭載容量を増やすことにより、モーターのみでの走行(以下: EV 走行)可能距離を拡大するとともに、充電装置を付加することで、家庭用 電源からも充電可能な機能を備えている自動車。従来のハイブリッド車と同